

子どもが子どもらしく自分で考え遊ぶ姿から、子どもの生きる力、
そして「居場所の力」を感じられる映画「ゆめパのじかん」。

NHKのドキュメンタリー番組「ドキュメント72時間」で、「ゆめパ」に密着した
「どろんどろんパーク」 雨を走る子どもたち」が昨年の視聴者人気投票で1位に！



4日(土)「みんなの居場所 ひらひら平谷」
見学会開催！



「やってみたい」が
いっぱいある。

重江良樹 監督作品
『さとにきたらえやん』

ゆめパ のじかん



yumepa-no-jikan.com

神奈川県川崎市にある子どもたちの居場所「川崎市子ども夢パーク」=通称「ゆめパ」。
遊んで、転んで、立ち止まって……誰もが安心して自分らしく過ごせる居場所で育まれる、
子どもたちのかけがえのない「じかん」を情豊かに描いた珠玉のドキュメンタリー。

監督・撮影：重江良樹 構成・プロデューサー：大澤一生 編集：辻井 音楽：児玉奈央 制作協力：認定NPO法人フリースペースたまりば
撮影協力：川崎市、川崎市子ども夢パーク、公益財団法人川崎市生涯学習財団、夢パーク支援委員会、ちいれん(地域で子育てを考えよう連絡会)、風基建設株式会社
製作：ガーラフィルム、ノンデライコ 宣伝：ウッキー・プロダクション、リガード 配給：ノンデライコ 2022/日本/90分/日本語/カラー/ドキュメンタリー
助成：文化庁文化芸術振興費補助金(映画創造活動支援事業) 独立行政法人日本芸術文化振興会 推薦：厚生労働省社会保険審議会



「やってみたいが叶う！」～みんなの居場所 ひらひら平谷～『ゆめパのじかん』上映会 in 平谷

- ①2023年3月3日(金) 19:00 (18:30 開場) ※上映時間 90分
 - ②2023年3月4日(土) 10:30 (10:00 開場) → お子様連れ歓迎
- 4日(土)の上映後「みんなの居場所 ひらひら平谷」見学会を開催(要申込み 先着10名、終了時間12:45)

会場：平谷村交流ホール(平谷村役場と同じ建物の裏側) 参加費：無料(各回定員100名まで)

お問い合わせ：090-4829-2211(ひらひら平谷) hiraya.kids.village.project@gmail.com

主催：みんなの居場所 ひらひら平谷(信州子どもカフェ会員)

後援：南信州子ども応援プラットフォーム、平谷村教育委員会



平谷村地域おこし協力隊
「みんなの居場所 ひらひら平谷」 →



Facebook Instagram



申込みフォーム
こちらのQRコードからも申し込めます。

お申込み <https://forms.gle/8PEnUNVtnJLZPjdS7>
定員に達していない場合は、当日お越しいただいても入場できます。

何をしてもいい。何もしなくてもいい。
 きみは、きみのままでいい。

いまを生きるすべての子どもと、かつて子どもだった大人に贈る、
生きる力を育む“じかん”

「ゆめパ」は子どもたちみんなの遊び場。約1万㎡の広大な敷地には、子どもたちの「やってみたい」がたくさん詰まっています。手作りの遊具で思いっきり遊ぶ子どもたち。一緒にどろんこになっている親子。小さな子どもを連れた自主保育のグループ。ゆめパにはいつも子どもと子どもに関わる大人が集っています。ゆめパの一角には「フリースペースえん」があり、学校に行っていない子どもたちが自分の「好き」をあたためています。安心して、ありのままの自分で過ごせる場所で、虫や鳥を観察したり、木工細工に熱中したり、ゴロゴロ休息したり。でも、時には学校や勉強のことが気になる子も…。新しい春を前に、一人の子が自身の将来を考え始め――。

家庭でもない、学校でもない、第3の子ども
 の居場所を公設民営で運営している先進的な
 モデルとして、全国の自治体から注目を集める
 ゆめパの日々を3年にわたり撮影したのは、『さ
 とにきたらええやん』の重江良樹監督。遊ぶこと、学ぶこと、休息
 すること、人と共にあること。その輝きも揺らぎも、子どもたちのかけ
 がえのない“じかん”はきっと大人たちにも大切なものを思い起
 こさせてくれることでしょう。

子どもも大人もみんなが作り手となって生み出される「居場所
 の力」と、時に悩みながらも、自ら考え歩もうとする「子どもの力」
 を描き出したドキュメンタリー。



子どもは“好き”を見つけ、“自分らしさ”を表現する
 才能があると改めて感じました。

『ゆめパのじかん』では、その才能を最大限に発揮し、大人にはない行動力を爆発させている、子どもたちの輝く瞬間をリアルに映し出しています。周りと同じである必要なんてなく、自分らしさを持つことが大切だということを子どもたちが教えてくれました。年齢問わず、多くの方にこの作品を観ていただきたいです。

――中川翔子(歌手/タレント)

「子どもは自分で考えて決断することができない庇護すべきか弱いイキモノである。だから、我々オトナは彼らを守り、教え、「正しい道」に導かなければならない」。『ゆめパのじかん』を観た後はそんな思い込みがきっと一掃されてしまうだろう。

**無気力で勉強嫌いと思われがちな
 不登校児のイメージも変わるかもしれない。**

――深爪(エッセイスト)

未来はひとりひとりの
 手作りの希望からしか生まれえない。

――谷川俊太郎(詩人)



「川崎市子ども夢パーク」とは

神奈川県川崎市高津区にある子どものための遊び場。2000年に制定された「川崎市子どもの権利に関する条例」をもとに市民参画で作られた。工場跡地を利用した約1万㎡の広大な敷地にはプレーパークエリア、音楽スタジオや創作スペース、ゴロゴロ過ごせる部屋のほか、学校に行っていない子どもたちのための「フリースペースえん」が開設されている。乳幼児から高校生くらいまで、幅広い年齢の子どもが利用している。

yumepark.net

@yumepa_no_jikan | @yumepanajikan | @yumepanajikan2022 | yumepa-no-jikan.com

会場及び駐車場案内

交流ホール入口



- ・新型コロナウイルス対策のため、入場前のアルコール消毒、検温、上映中のマスク着用にご協力をお願いいたします。
- ・持参した水筒以外の飲食及びお近くの方との会話はご遠慮願います。
- ・ご着席の際は、ほかのお客様と1席以上離れてください。